

昭和21年7月10日第3種郵便物認可



特別表彰の賞状を持つ小川裕也君

田辺工業高校（田辺市あけぼの）の情報システム科2年、小川裕也君（17）はこのほど、情報技術検定試験1級に合格し、成績優秀者として特別表彰も受けた。主催は全国工業高校長協会。工業技術者として必要な基礎的情報技術についての知識と技能を習得しているかどうかを検定する。1級は、コンピューターの

基本回路や通信などについてのハードウェアの知識とアルゴリズムなどについてのプログラミングの基礎知識からなる。全国から1279人（県内では9人）が受験し、290人（同3人）が合格した。合格率は23・06%（同33・3%）。特別表彰は合計点数が190点以上で、協会の審査を通過した人に贈られる。小川君は195点。全国では41人で、県内では他に和歌山工業高校の生徒が表彰された。小川君は昨秋、同様の内容の国家試験「基本情報技術者

特別表彰も 情報技術検定試験

小川君（田辺高）1級に合格

試験」にも合格している。同試験はマークシート式だが、情報技術検定試験は筆記。「12月ごろから放課後などに勉強した。筆記なのでこちらの方が難しかった」と振り返る。

弓道部に所属しており「勉強と部活を両立させるのが難しかった。プログラミングの問題などが解けた時は面白くて、スマートフォンやメールの暗号など問題が日常生活に関わっているのが分かると楽しい」と話している。

次はデジタル伝送路設備に端末設備などを接続するための工事を担当できる国家資格（工事担任者DD1種）を取りたいと意欲を見せていく。